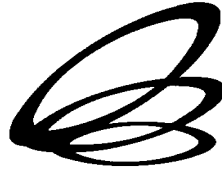


投資サービスセンター
投資委員会事務局
首相府



INVESTMENT SERVICES CENTER
THE BOARD OF INVESTMENT
OFFICE OF THE PRIME MINISTER

555 Vibhavadi-Rangsit Road, Chatuchak Bangkok 10900 Tel. 0 2553 8111 Fax : 0 2553 8222

プレスリリース / PRESS RELEASE

第 146 / 2567 (Aor. 68) 号

2024 年 10 月 28 日

BOI は「メクテック」の PCB 製造投資拡大を支援 電子産業の拡大に対応

BOI は、タイの PCB 産業が急成長を遂げ、タイを地域の製造拠点としての地位を確立するために押し上げていると強調しました。最近、BOI はメクテック・マニュファクチャリング社の PCB 製造拡大プロジェクトを、投資額 9 億 2000 万バーツで承認し、さまざまな産業、特に電気自動車における電子機器需要の増加を支えるための取り組みを進めています。また、同社のアユタヤ工場をメディア関係者に公開しました。

投資委員会 (BOI) のナリット・テートサティーラサック長官は、プリント回路基板 (Printed Circuit Board: PCB) 産業が国の発展において重要な役割を担っていると述べました。PCB は、自動車、医療機器、通信、スマート家電、自動化システムやロボットなど多様な産業に使用される電子機器製造の中核を成しています。世界的な生産拠点移転とサプライチェーンの大規模な再編の流れにより、多くの大手 PCB メーカーがタイへの投資を決断し、現在タイは ASEAN 地域で第 1 位、世界でもトップ 5 の PCB 製造拠点となっています。

2023 年 (仏暦 2566 年) 以降、タイにおける PCB 産業への投資は急速に増加しています。2023 年 (仏暦 2566 年) 1 月から 2024 年 (仏暦 2567 年) 9 月までの間に、PCB 産業への投資奨励申請は 95 件に達し、総投資額は 1620 億バーツに上りました。これは、2021 年 (仏暦 2564 年) から 2022 年 (仏暦 2565 年) における年間平均申請額が 150 億バーツにとどまっていたことと比較すると大幅な増加となっています。これらの

投資の大部分は、中国、台湾、日本の大手 PCB メーカーによるもので、初期段階で 2 万人以上の雇用が創出されると見込まれています。また、年間 1000 億パーツを超える国内原材料の利用と、年間 7000 億パーツの輸出増加が見込まれています。

同時に、BOI はメディア関係者を伴い、バンパイン工業団地（アユタヤ県）にあるメクテック・コーポレーショングループのメクテック・マニュファクチャリング・コーポレーション（タイ）社を訪問しました。同社は、PCB 分野の電子部品メーカーとして日本国内で販売量 1 位、世界で 6 位の実績を持つ日本企業 NOK Corporation の子会社で、特に、フレキシブルプリント基板（Flexible Printed Circuit Board: FPCB および FPCBA）の製造において高度な専門技術を有しています。

FPCB は、折り曲げて複雑な形状やスペースに収納することができる特性を持ち、薄型で軽量という特性から、スペースや重量に制約のある製品に最適です。現在、FPCB は、スマートコンタクトレンズといった小型製品から電気自動車用バッテリーに至るまで幅広く利用され、高付加価値の PCB 分野とされています。今回、新たに BOI の支援を受けたメクテックのプロジェクトでは、FPCB および FPCBA の生産能力を拡大し、増加する電気自動車向けの受注に対応します。このプロジェクトには 9 億 2000 万パーツの投資が行われ、タイ人従業員 260 名を新たに雇用（現在の従業員数は 3000 人超）し、年間で国内から 25 億パーツ相当の原材料を追加調達する見込みです。

「タイは、アジアの新たな PCB 投資先として認識されています。この 1 年余りの間に、メクテックや KCE といったこれまでに投資奨励を受けていた企業の投資拡大に加え、Unimicron、Compeq、WUS、Gold Circuit、Chin Poon、Dynamic Electronics、Apex Circuit、Unitech、Well Tek といった世界的な PCB メーカーが相次いで新工場を設置しています。今後 1～2 年の間に、特に Prepreg や Copper Clad Laminate などの原材料や部品の製造を行う海外の主要メーカー率いる PCB 関連企業がさらにタイへの投資を増加させると見込まれており、これによりサプライチェーンが強化されるでしょう。PCB は電子製品の中核を成すものであり、PCB 製造拠点の存在は多様な電子製品の開発機会を増やし、さらに他の産業へも発展を広げる可能性を秘めています。」とナリット氏は述べました。

世界的な FPCB（フレキシブルプリント基板）メーカーである日本企業メクテック・マニュファクチャリング・コーポレーション（タイ）社の代表取締役ソムチャイ・アサワルンセンゲン氏は、メクテックが BOI から総額 580 億パーツ以上の投資奨励を受けた複数のプロジェクトにより、投資上の大きな優位性があると述べました。これらのプロジェクトの多くは、FPCB や FPCBA などの電子部品の製造を目的としています。PCB

分野の事業は、5G 技術の発展、IoT 対応電子機器の需要増加、電気自動車産業の成長、ロボットおよびAI、医療機器の進展、そしてBOI の包括的なPCB 分野の支援策により、今後もタイで継続的な拡大が期待されます。これらの要因がPCB 産業の成長機会をさらに広げ、将来的な発展を後押しする重要な役割を果たすでしょう。

「メクテックは、世界各地に製造工場と販売拠点を展開しており、タイには1995 年（仏暦 2538 年）からフレキシブルプリント基板（FPCB）の製造を目的に進出しました。タイのPCB 産業の強固なサプライチェーンと、タイ政府の支援政策により、当社は、タイへの信頼を高め、さらなる投資拡大に踏み切っています。将来的な顧客需要に対応するために、新しい製造プロセスにも投資を開始しており、例えば、微細な回路パターンが求められる製品（ファインピッチ）や、2025 年（仏暦 2568 年）に成長が期待されるバッテリーマネジメントシステム（BMS）、さらにはAI および自動化システムの開発などがあります。また、3 年後には年間平均 3 億パーツの追加投資を行い、生産効率向上や工場の競争力強化に年間 2 億パーツを投じる計画です。これにより、メクテックはスマートファクトリーへの進化を目指し、グローバル電子産業の支援者としての企業ビジョンに沿った取り組みを推進していきます」とソムチャイ氏は述べました。

“BOI は全投資規模、タイと外国の両者を投資奨励する”

